



生活だより

よりよい生活のために～学び合い、磨き合い、支え合い～

今年はあるという間に梅雨が明け、気がつくとい学期の登校日数もあとわずかとなりました。4月からのことを振り返ると、最高学年あるいは新たなクラスでのスタート、新入部員を迎えての部活動、3年生に導かれての生徒会活動、そして運動部の3年生の引退など、いくつかの節目があったかと思えます。

コロナ禍で大変だった頃に比べると、交流清掃や校歌練習、壮行会などの生徒会の諸活動で、1年生から3年生まで入り交じって活動できる場面が多くなりました。青・紺・緑の三色のジャージの色が交ざって活動している姿を見るたびに、なんだか嬉しくなります。

学校教育目標のとおり、全校生徒が互いに「学び合い、磨き合い、支え合い」向上心を持って「よりよい生活」をめざしてほしいので、この目標を時々思い返し、具体的場面を意識して生活していけるといいですね。

たとえば…

☆「交流清掃」から学んだことは？

- ・3年生はどんな清掃をして、どうアドバイスしてくれたか？
- ・一生懸命清掃に取り組む仲間や先輩の姿から学ぶことは？

☆「部活動」で生かす、「部活動」を生かす

- ・引退した3年生から学んだことは？今後の自分に生かせることは？
- ・引退後も〇〇部員として卒業まで後輩に示すべきことは？

☆「生徒会活動」において

- ・3年生の具体的な姿から学べることは？
- ・自分一人でも生徒会活動を支えられることは何？



【1～3年生による交流清掃】



【3年生と一緒に校歌の練習】



【全校で応援できた壮行会】

☆「麦秋」の頃に… 3年生へ

「麦秋に 試練実るも 引退す(七瀬飛鳥)」「麦秋(ばくしゅう)」とは夏の季語で、麦が実る頃(6月下旬～7月上旬)の時候の挨拶に使われます。(ウクライナでは今、危険と隣り合わせで小麦の収穫を急ぐ人々が大勢います。)

南宮中の中庭にはなぜか麦があり、梅雨の頃は一見枯れたような収穫時の色をしています。この時期の麦を見るたびに、部活動を引退していく3年生の姿を毎年思い浮かべます。秋の新人戦で負けた後、麦と同じように冬の試練を乗り越え、その成果が実っても最後は負けて引退を迎える…。厳しい練習を乗り越えたからこそ自分の成長を自覚できるのであり、部活を続けてきた収穫を実感できるのでしょうか。実った麦の穂に3年生の最後の勇姿が重なります。

また、中庭には枇杷(ビワ)の実が実ります。「桃栗3年、柿8年」ということわざには続きがあり、「枇杷は9年で成りかける」と続くのだそうです。実を結ぶまでの年数だけでなく「ものごとを成し遂げるにはそれ相応の時間がかかる」という意味で使われることもあります。「引退」は終わりではなくこれからの長い人生に生かすべき節目のひとつだと考えることができます。中学校での試練があったからこそ今の自分がある…。そう思える日は何年も先のこともかもしれません。

3年生の今後の健闘を心から祈ります。



(中庭の麦の穂)



(昨年実ったビワの実)



長い夏休みに入る前に再確認！

PTA講演会「ネットの被害者・加害者にならないために」～生徒の感想より～



- 講演会でネットについて考えました。自分をふり返ると、帰ってからスマホを見ている時間が長いです。自分でもスマホ依存だと思っていたけれど、ここまで考えさせられたのは初めてでした。次に、いじめについての話で、自分はラインやインスタ、ツイッターをやっているの、よく考えました。これからメッセージを送るとき、「これで大丈夫か」と確かめたいです。今日の学習を生かし、SNSと上手に関わり、トラブルがないよう気をつけたいです。(1年生)
- 今日の講演会で、ネットの怖さを学びました。まずは依存症です。家族との時間なのに、スマホを手放せなくなるのは怖いと思いました。ネットの「いじめ」については、少しのすれ違いから「いじめ」に発展することがあり、誹謗中傷すると一生消えない「デジタルタトゥー」になることが分かりました。就職する時に影響することも分かりました。「なりすまし」やストーカーの話もあり、ネットは便利だけれど同時に危険を伴うことを学びました。私は、これらの被害にあわないよう気をつけ、ネットの被害者にも加害者にもならないようにしたいです。(2年生)
- 私はまだメッセージのトラブルはありませんが、講師の方が言っていた「相手を理解する」ことを大切にしたいです。…(中略)…私は、匿名でバシないとしても、人の悪口を言ったりすることが信じられません。依存もいじめもなりすましも個人情報のことなども、どれもぼんやりと「危ないんだな…」という意識はありましたが、今日の講演で私が思っているよりも身近にあり、私が思うよりもずっと怖いことだと分かりました。大事になる前に、ネットの危険性や怖さについて知ることができてよかったです。これから先も、気をつけて使っていきたいです。(3年生)

保護者の皆様へ

6月のPTA講演会では、スマホやインターネットの使い方と危険性について、e-ネットキャラバンの山本紗恵さんをお呼びし、「ネットの加害者・被害者にならないために」という演題でお話していただきました。上の感想にあるように、便利な情報機器にかかわる危険性については、生徒も理解できたようですが、テストも終わり夏休みに入る頃になると、講演の内容や自分で書いた感想さえも忘れてしまう生徒が多いと思います。ここで再度その危険性について確認し、トラブルに巻き込まれないよう気をつけ、加害者にも被害者にもならなくて済むよう、ご家庭でのご指導をお願いします。

スマホやインターネットを正しく使うために気をつけてほしいこと

- 1 個人情報を書き込まない (個人データはもちろん、生活の様子が見える写真なども)
- 2 使い過ぎに注意する (時間やお金の無駄遣い、「依存」になっていないか注意)
- 3 法律やルールを守って使う (友達の写真や面白半分の動画をアップするだけでも犯罪に発展)
- 4 自分が書き込んだ結果を想像する (軽はずみな一言や画像が周りや自分にどう影響するか)
- 5 心にスキをつくらない (このくらいバシない、嫌な思いをさせよう、ネットの人は信用できる、等)

就職する時に、企業の人事担当の方が内定前の新入社員の過去をインターネットで調べ、問題があれば採用しないとのこと…。「過去のことで自分が忘れていても、ブーメランのように将来の自分に返ってくる」のです。今年の講演でも「未来の自分に恥じない生き方、未来の自分を止めない生き方を心がけよう」という言葉がありました。就職しようとする時、結婚しようとする時に、過去の自分が未来の自分の足を引っ張らないよう、今から気をつけて過ごしてほしいとのことでした。

☆少しでも心配な事があれば、お子さんに問いかけ、内容によっては学校や警察に連絡して下さい。